

2021年度（令和3）年度事業報告
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

1. 会長報告

(1) 総会

2021年度の定時総会は昨年に引き続き、COVID-19の感染拡大により、WEBでの総会を行うことを2021年5月21日に案内し、6月15日に開催した。

代議員84名（電子的議決権の行使含む）参加のもと、「2020年度収支決算書の件、理事・監事選任の件」について審議し可決した。

また、総会後に開催した理事会において、会長ならびに業務担当理事の選定を行い、会長（松浦達也）業務担当理事（竹谷豊、吉村徹、渡邊文雄、津川尚子）が就任した。

(2) 理事会、委員会等の開催

2021年度の会議は、WEB会議・メール審議の開催を含め、開催数を以下の通り示す。

理事会	6回
業務担当理事会	12回
幹事会	1回
編集委員会	26回
学術広報委員会	3回
国際交流委員会	1回
選挙管理委員会	3回
学会賞選考委員会	1回
トピックス等担当委員会	2回
将来構想検討委員会	3回
産学連携連絡会議	1回

2. 庶務担当理事報告

(1) 会員等の状況（2022年3月31日現在）

1) 会員数の内訳

正会員	634名
学生会員	55名
団体会員	106件
賛助会員	31社（49口）

2) 役員等

名誉会員	10名
理事	16名
監事	3名
幹事	26名
功労会員	64名
代議員	98名
賛助会員幹事	17名

- 3) 委員会等
- | | |
|------------|-----|
| 学術・広報委員 | 5名 |
| 国際交流委員 | 10名 |
| 編集委員 | 12名 |
| JNSV 編集委員 | 12名 |
| トピックス等担当委員 | 32名 |
| 学会賞選考委員 | 21名 |
| 選挙管理委員 | 5名 |
| 将来構想検討委員会 | 11名 |

(2) 研究業績の表彰、奨励

1) 学会賞受賞者

山本 恵子 (昭和薬科大学 学長・教授)
「ビタミン D アナログの創製と受容体の構造解析に関する研究」

2) 奨励賞受賞者

美藤 友博 (鳥取大学農学部生命環境農学科 助教)
「ビタミン B₁₂ 欠乏により誘発される酸化ストレス障害に関する研究」

安田 佳織 (富山県立大学工学部 講師)
「天然型ビタミン D およびビタミン D 誘導体の代謝と生理作用に関する研究」

3) 企画・技術・活動賞受賞者

三菱ケミカルフーズ株式会社
畠田谷 卓也, 堀 新千代, 田村 元, 青木 由典
「ビタミン類の医薬品・健康食品原材料の企画と創出」

4) 功績者表彰受賞者

中野 長久 (大阪公立大学名誉教授・客員教授)
錦見 盛光 (和歌山県立医科大学名誉教授)
山田 正二 (北海道教育大学名誉教授)

5) 学生優秀発表賞

木瀬 智子 (富山県立大学大学院)
佐々木 皓平 (徳島大学大学院)
高村 祐太 (岡山大学大学院)
辰巳 理奈 (大阪府立大学大学院)
土志田 祐太 (東京都健康長寿医療センター研究所、東京都立大学)
中富 毅 (東北大学大学院)
原田 美帆 (島根大学大学院)
村上 大毅 (大阪市立大学大学院)

6) トピックス貢献賞

栗原 晶子 (大阪府立大学総合リハビリテーション学類 栄養療法学専攻 准教授)

7) 若手海外優秀発表賞

木瀬 智子 (富山県立大学大学院)

3. 学術・広報担当理事報告

(1) 年次大会の開催

日本ビタミン学会第73回大会の開催は、当初6月19日・20日を予定していたが、COVID-19感染拡大のため、一般演題発表は6月11日～7月30日の期間、視聴できるWEBサイトにて発表を行った。

また、学会賞・シンポジウム講演などは、11月20日・21日にハイブリッドにて講演を行った。

大会委員長：石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長）

実行委員長：福井 浩二（芝浦工業大学システム理工学部生命科学科 教授）

テーマ：『ビタミン学で感染症に挑む』

・学会賞等受賞講演 4 講演

・一般演題発表 88 題

・特別講演

《ビタミン学で感染症に挑む》

「コロナ禍による大学教育の変貌と将来について - 芝浦工業大学での取り組み -」

角田 和巳（芝浦工業大学工学部機械工学科）

「新型コロナウイルスが蔓延する時代に東洋医学ができること」

岡村 麻子（つくばセントラル病院産婦人科）

「インスリン様活性を修飾する機構の多様性と生理的意義」

高橋 伸一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科）

・基調講演

「健康寿命の延伸に向けた国の栄養政策の動向とアカデミアへの期待」

塩澤 信良（厚生労働省健康局健康課栄養指導室）

・教育講演

「葉酸の C-1 メタボロームの遺伝子栄養学」

香川 靖雄（女子栄養大学 医化学研究室）

「ピュアサイエンスから実学研究までのすすめ」

重岡 成（近畿大学附属農場）

「ビタミン類による感染防御免疫システム制御」

阿部 皓一（武蔵野大学 SSCI 研究所，三菱ケミカル株式会社）

・シンポジウム

《ビタミンと脳神経機能》

「記憶制御に対するビタミン B₁ を中心とする必須栄養素群の役割

Roles of essential nutrients in memory regulation

喜田 聡（東京大学大学院 農学生命科学研究科）

「ビタミン K の最近の話題，脳機能との関連」

井上 聡（東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム）

「トリプトファン-NAD 経路代謝産物キヌレン酸と脳神経機能」

福渡 努（滋賀県立大学 人間文化学部）

「ビタミン等の食品因子に焦点を当てた認知症予防法の開発」

山田 正仁（金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（脳神経内科学））

「ビタミン E による神経保護作用について」

福井 浩二（芝浦工業大学 システム理工学部生命科学科）

《エピジェネティクスから考えるビタミン・バイオフィクターの未来》

「ビタミン・バイオフィクターとエピジェネティクス」

佐藤 安訓（北陸大学 薬学部）

「Developmental Origins of Health and Disease DOHaD）学説の見地に立った

肝臓での DNA 脱メチル化におけるビタミン C の重要性」

橋本 貢士（獨協医科大学 埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科）

- 「葉酸と DOHaD, その出生後影響」
熊本 隆之 (奥羽大学 薬学部)
- 「慢性腎臓病におけるエピジェネティクス制御によるビタミン A 代謝変動」
増田 真志 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部)
- 「がん研究におけるエピジェネティクスとビタミン E 類縁体」
佐藤 綾美 (東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム)

《ビタミン誘導体による人工触媒系の開発および医療応用研究の最前線》

- 「ビタミン B₂ を用いた有機分子触媒反応の開発と機能性材料への応用」
飯田 拓基 (島根大学大学院 自然科学研究科)
- 「光や電気エネルギーで駆動するビタミン B₁₂ 誘導体による人工触媒システムの開発」
寫越 恒 (九州大学大学院 工学研究院応用化学部門)
- 「アスコルビン酸誘導体を用いた医薬品開発への可能性」
田井 章博 (徳島大学大学院 社会産業理工学研究部生物資源産業学域)
- 「トコトリエンオールエーテル誘導体化による抗がん作用増強の可能性
—悪性中皮腫を用いた解析—」
矢野 友啓 (東洋大学 ライフイノベーション研究所)

《ビタミンを中心としたケミカルバイオロジー研究》

- 「ビタミン K を構造基盤とした抗腫瘍化合物の創製研究」
藤井 晋也 (東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)
- 「人工ビタミン D の可能性 :
ビタミン D 受容体 (VDR) リガンドと非 VDR リガンドの研究」
橘高 敦史 (帝京大学 薬学部医薬化学講座薬化学研究室)
- 「ビタミン E エステル体の生物活性におけるエステル構造の影響」
小暮 健太郎 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 (薬学域) 衛生薬学分野)
- 「ビタミン D 誘導体の合成研究 :
極性官能基, および共役トリエン構造へのアプローチ」
藤島 利江 (徳島文理大学 香川薬学部)
- 「幾何学的構造変化を利用したクマリン骨格の導入法の開発研究」
伊藤 俊将 (昭和薬科大学 医薬分子化学研究室)
- 「ビタミン K の生物活性の増強を目指した誘導体研究」
須原 義智 (芝浦工業大学 システム理工学部生命科学科)

《企業シンポジウム》

- 「免疫機能の維持向上に対する取り組み」
山本 佳弘 (ハウスウエルネスフーズ株式会社)
- 「ビタミン D 不足解消に向けて—ファンケル従業員での取り組み—」
高野 ひとみ (株式会社ファンケル)
- 「ビタミン類を含有する機能性化粧品の作用と誘導体化ビタミンの応用について」
水谷 多恵子 (株式会社 CIEL)
- 「医薬品原料としてのビタミンについて」
田村 元 (三菱ケミカル株式会社)

(2) 市民公開講座

2021 年度市民公開講座は、2021 年 12 月 4 日新潟県長岡市での開催に向けて準備をすすめていたが、COVID-19 の感染が危惧されるため、参集しての開催は中止とし、地元のケーブルテレビにて講演内容を収録し 1 月 16 日に放映した。また、その講演内容を学会ホームページにて視聴できるようにした。

実行委員長：高橋 祥司 (長岡技術科学大学院技学研究院)

開催方法：ケーブルテレビ放映 (株式会社エヌ・シー・ティ)

(放映地域：長岡市, 三条市, 見附市, 小千谷市, 燕市, 柏崎市)

テーマ：私たちの健康・美容とビタミン

講演内容

- 「尿分析でビタミンの栄養状態を評価する」
柴田 克己（甲南女子大学教授）
- 「地域住民におけるビタミン D と病気の予防」
中村 和利（新潟大学教授）
- 「健康や美容のマストアイテム-ビタミン C-」
石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究部長）

(3) 共催・協賛・後援

1) 日本骨粗鬆学会シンポジウム（共催）

日 時：2021 年 10 月 8 日 15：00～16：30

会 場：WEB 配信

テ ー マ：骨粗鬆症実臨床におけるミネラル代謝・ビタミン D の再考
講演内容

- 「ミネラル代謝の変動と生物への影響：カルシウム」
津川 尚子（大阪樟蔭女子大学健康栄養学部）
- 「ミネラル代謝の変動と生物への影響 リン」
竹谷 豊（徳島大学大学院医歯薬学研究部）
- 「骨粗鬆症治療における 25 (OH) D 測定の意義」
坂本 優子（順天堂大学医学部附属練馬病院整形外科）
- 「骨粗鬆症治療において、カルシウムとリン代謝の面から
安全な骨粗鬆症治療をめざす。」
重松 隆（地方行政独立法人りんくう総合医療センター腎臓内科）
- 「骨粗鬆症実臨床におけるミネラルのモニタリングと組織学」
山本 智章（新潟リハビリテーション病院整形外科）

2) 日本病態栄養学会 合同パネルディスカッション（共催）

日 時：2022 年 1 月 30 日（日）9：30～11：30

会 場：国立京都国際会館 Room A（京都市左京区宝ヶ池）

テ ー マ：栄養管理におけるビタミンの役割

講演内容：

- 「ビタミンの overview」
津川 尚子（大阪樟蔭女子大学）
- 「ビタミン不足と疾患リスク」
田中 清（神戸学院大学）
- 「CKD の栄養管理におけるビタミン」
竹谷 豊（徳島大学）
- 「小児科領域のビタミン」
瀧谷 公隆（大阪医科薬科大学）

3) ビタミン B 研究委員会 シンポジウム（協賛）

日 時：2022 年 3 月 4 日 13：00～16：30

会 場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（WEB）

テ ー マ：ミネラル・金属を含むバイオフィクター

：その巧妙なつくられ方とはたらき

講演内容

- 「鉄硫黄クラスター：鉄と硫黄からなる無機集合体の生合成と多様性」
藤城 貴史（埼玉大学）
- 「モリブデンコファクターの巧妙なつくられ方」
キーワードは「モリブデンを捕捉する硫黄の手」

中井 由実 (大阪医科薬科大学)
「ヘム生合成とポルフィリン症」
中野 創 (弘前大学)
「メラニン生成酵素チロシナーゼの成熟」
藤枝 伸宇 (大阪府立大学)
「微量必須元素セレンをもつタンパク質のつくられ方とはたらき」
三原 久明 (立命館大学)

4) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会 市民公開講演会 (協賛)

日 時: 2022年3月26日(土) 13時~16時30分

会 場: 龍谷大学響都ホール (アバンティ9階)

テ ー マ: ビタミン・バイオフィクターとプラスチック

講演内容

「マイクロプラスチック分析の最新ソリューション」

川原 和美 (株島津製作所 分析計測事業部)

「バイオフィクター温故知新~プラスチックを食べるバクテリアの巻~」

吉田 昭介 (奈良先端科学技術大学院大学)

「プラスチック行政の取り組み」

吉森 信和 (富山県生活環境文化部 環境政策課)

「「バイオプラスチック」とは何で、どんなものがあるのか?」

高橋 里美 (元京都大学大学院農学研究科)

「カネカ生分解性ポリマーGreen Planet の開発」

福田 竜司 (株カネカ Green Planet 推進部)

(4) ホームページによる広報活動

「Q&A」コーナー改訂や、新コーナー「研究紹介」設置などホームページ充実を図るために準備を進めている。また、質問などの問い合わせに対応を行った。

4. 編集担当理事報告

(1) 学会誌「ビタミン」の発行

2021年度は、95巻4号~96巻3号、計11冊を発行した。

掲載論文は、総合論文(3)、ミニレビュー(10)、研究論文紹介(7)、トピックス(23)、オピニオン他(2)、その他委員会の抄録等を掲載した。

(2) 英文誌「Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV)の発行

公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集し2021年度発行: Vol.67-2~Vol.68-1(6冊)をオンラインジャーナルにより発行した。

(3) 投稿規約を一部改訂した。

(4) 学会誌充実のため、新たな論文種別「症例報告」などの検討を行っている。

5. 会計担当理事報告

次の件について検討し、理事会に諮った。

(1) 2020(令和2)年度収支決算書類

(2) 2022(令和4)年度収支予算書類

(3) 日本ビタミン学会第73回大会会計報告書類

(4) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会へ活動事業委託費の申請

2021（令和3）年度事業報告 附属明細書

2021（令和3）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。